

No.	意見の概要	本市の考え方
1	<p>●城山周辺の公共施設の再整備に必要性の高いものと理解しているが、費用についてはできるだけコストカットしてほしい。今後少子高齢化による人口減少等での税収減少と、公共施設の老朽化が進み今後老朽化対策の投資が増えていくことが大きな課題と思っている。利便性を追求することは良いことかもしれないが、その結果、将来の負担増とならないよう工夫してもらいたい。</p> <p>●HPにもリンクと書いてあるが、運転中のスマホ操作の可能性もあるのでその点は再考してほしい。</p>	<p>■延岡城・内藤記念博物館は、今までの内藤記念館の単なる建替えではなく、本市初の博物館、且つ国宝や重要文化財も展示可能で、美術館機能も持つ県北初の国の公開承認施設の整備という大きな意味を持つものであり、開館後は市外・県外から多くの来館者の来られる施設です。したがって、多くの来館者(しかも延岡の地理にお詳しくない方も含め)への対応をしっかりと行っていく必要があります。</p> <p>■整備費・運営経費等につきましては、低コスト化を追究するとともに、汎用性、経済性、信頼性等に優れたシステム構成を考慮し、検討してまいります。</p> <p>■ホームページでの表示については、運転中のスマートフォンの使用は事故防止のため当然出来ませんが、出発前や休憩時等に事前に駐車場の満空状況を確認できるなどの利便性を高めるためのものをご理解ください。</p>
2	<p>●内藤記念博物館、野口遵記念館、Park-PFIの施設ができると交通の混雑が発生するとのことだが、3億円以上かけて緩和する必要が出てくる集中・混雑とはどの程度のものを想定しているのか。また、どのような問題が出てくると想定しているのか。</p> <p>●年間の概算トータルコストを見ると、簡単に辞めることは出来ないような額になっているが、初年度はまず誘導員等を配置し、それでは対応できない状況となった場合にさらに誘導員を増やすか、システムを導入するかを検討した方が良いのではないのか。</p> <p>●ホームページの空き状況表示について、専用のシステムを作るのではなく、配置した人員を通じ、一定の利用率を超えた場合にその旨を更新する方法が良いのではないのか。延岡市の公式ラインやfacebook等でも同様の情報を更新する等、お金をかけず現在あるものを活用して同程度のサービスが実現できないか検討はしているのか。</p>	<p>■延岡城・内藤記念博物館は、今までの内藤記念館の単なる建替えではなく、本市初の博物館、且つ国宝や重要文化財も展示可能で、美術館機能も持つ県北初の国の公開承認施設の整備という大きな意味を持つものであり、開館後は市外・県外から多くの来館者の来られる施設です。したがって、多くの来館者(しかも延岡の地理にお詳しくない方も含め)への対応をしっかりと行っていく必要があります。</p> <p>■市役所から城山公園周辺一帯は、市役所・城山公園・図書館・社会教育センターの利用者のほか、今後、延岡城・内藤記念博物館及び野口遵記念館、古民家風カフェが開館する事で、これら施設利用者の増大・集中が考えられます。また、現在でもイベント等行われる際には駐車場不足が生じております。このような中、駐車場については、複数の場所に点在しており、各施設を利用される方々にとって分かりにくく、駐車場を探したり満車時に他の駐車場へ移動する事などで混雑が発生し、交通渋滞や周辺住民の方々の生活・安全に影響が出る事を想定しています。</p> <p>■システムの整備費・運営経費につきましては、現在お示しているのはあくまで概算額であり、今後低コスト化を追究するとともに、汎用性・経済性・信頼性等に優れたシステム構成を考慮し、検討してまいります。</p> <p>■誘導員等の配置については、人件費の負担増や人手不足などの課題もある上、誘導員だけの対応ですと、例えば一人の方と対応する間は他の方のお尋ねにお答えできないなどの問題が生じます。また、市外・県外から来られる方には、予め情報が見られるようにしておく必要もあると考えます。システム導入によりこれらの課題の解消が図られるとともに、満車空車の情報を自動更新する事で、情報のリアルタイム化が図られ、よりスムーズな誘導に繋がると考えられております。</p>
3	<p>●社宅が取り壊されて駐車場になったが全然使われていない。図書館の裏がいっぱいになることもほとんどないのに無駄だと思う。</p> <p>●最初は三千万円だと思っていたけど三億円と聞いてびっくりした。使わない駐車場に三億円も使うなら拘置所の角をもっと安心してほしい。</p>	<p>■延岡城・内藤記念博物館は、今までの内藤記念館の単なる建替えではなく、本市初の博物館、且つ国宝や重要文化財も展示可能で、美術館機能も持つ県北初の国の公開承認施設の整備という大きな意味を持つものであり、開館後は市外・県外から多くの来館者の来られる施設です。したがって、多くの来館者(しかも延岡の地理にお詳しくない方も含め)への対応をしっかりと行っていく必要があります。</p> <p>■ご指摘の駐車場については、現在整備中、または博物館開館に合わせ今後使用を開始する駐車場のことと思われませんが、この場所の整備に3億円を使うものではありません。3億円と見込んでいる整備事業は、全体で14ヶ所ある駐車場に、満車空車状態を大型表示板などでリアルタイムで表示・発信するシステム整備や施設整備などの事業費全体であります。</p> <p>■市役所から城山公園周辺一帯は、市役所・城山公園・図書館・社会教育センターの利用者のほか、今後、延岡城・内藤記念博物館及び野口遵記念館、古民家風カフェが開館する事で、これら施設利用者の増大・集中が考えられます。また、現在でもイベント等行われる際には駐車場不足が生じております。</p> <p>■システムの整備費・運営経費につきましては、現在お示しているのはあくまで概算額であり、今後低コスト化を追究するとともに、汎用性・経済性・信頼性等に優れたシステム構成を考慮し、検討してまいります。</p> <p>■拘置所近くの交差点の安全対策につきましては、地域の方々や警察と協議のうえ、この度国の制度である「キッズゾーン」に指定し、安全対策を図る考えであります。</p>

No.	意見の概要	本市の考え方
4	<p>子どもが車を持つようになって駐車場を探したが七千円と言われた。高すぎるので不動産屋にきいたら市役所の工事で従業員が公園の横の駐車場を使えなくて借りてるから高くなってるといわれた。七千円は貧乏人にはつらい。不動産屋は市役所の駐車場ができて市役所の従業員が借りなくなったら下がるといっていた。早く下げてほしい。</p>	<p>■市役所周辺の大規模な工事に伴い、駐車場をお探しの方々には、大変ご負担をおかけしておりますが、将来を見据えたまちづくりに必要な事業でありますので、ご理解いただきたいと思います。</p>
5	<p>●延岡市が提案した、歴史・文化ゾーン内駐車管理システム採用に「反対」。 延岡城・内藤記念博物館と野口記念館が新しくなったとしても連日(毎日)城山周辺の駐車場が満杯となり周辺が渋滞を起こすとは、現状では考えられない。両施設とも開館後しばらくと、大きなイベント開催時は混雑すると思うが、年間を通して混雑が継続するとは思えない。市の財政が厳しい中約3億円の設備投資や年間約1300万円の維持管理費を必要とする『駐車管理システム採用』はやめましょう。(無駄使いはやめましょう)</p> <p>●城山周辺の駐車場管理方法としては、 ①城山周辺に何台の車が駐車出来る駐車場がどこに何カ所あるのかを延岡市民誰もがわかる様に工夫して表示すれば良い。(現在の延岡市ホームページの駐車場表示は分かり易いとは言えない。) ②城山周辺の駐車場にも各駐車場がどこにあるのかの表示板(看板)を設置して下さい。 ③延岡城・内藤記念博物館開館と野口記念館開館後しばらくとイベント開催時に駐車場の交通整理人員を配置すれば、十分と思う。</p>	<p>■延岡城・内藤記念博物館は、今までの内藤記念館の単なる建替えではなく、本市初の博物館、且つ国宝や重要文化財も展示可能で、美術館機能も持つ県北初の国の公開承認施設の整備という大きな意味を持つものであり、開館後は市外・県外から多くの来館者の来られる施設です。 したがって、多くの来館者(しかも延岡の地理にお詳しくない方も含め)への対応をしっかりと行っていく必要があります。 また、市役所から城山公園周辺一帯は、市役所・城山公園・図書館・社会教育センターの利用者のほか、今後、延岡城・内藤記念博物館及び野口遵記念館、古民家風カフェが開館する事で、これら施設利用者の増大・集中が考えられます。また、現在でもイベント等行われる際には駐車場不足が生じております。</p> <p>■整備費・運営経費等につきましては、低コスト化を追究するとともに、汎用性、経済性、信頼性等に優れたシステム構成を考慮し、検討してまいります。</p> <p>■今回のシステムについては、大型表示板などでの表示に加え、市のホームページに満車空車の情報をリアルタイムで表示することとしております。また、城山公園内につきましても、歴史文化ゾーン全体の駐車場案内看板を整備していきたいと考えております。この事については、ご提案に沿った整備内容になると考えます。</p> <p>■誘導員等の配置については、人件費の負担増や人手不足などの課題もある上、誘導員だけの対応ですと、例えば一人の方と対応する間は他の方のお尋ねにお答えできないなどの問題が生じます。システム導入によりこれらの課題の解消が図られるとともに、満車空車の情報を自動更新する事で、情報のリアルタイム化が図られ、よりスムーズな誘導に繋がり利便性が高まると考えております。</p>